



諏訪湖クラブニュース NO. 4

諏訪湖クラブ設立一年を振り返って

会長 沖野外輝夫

早いような気もするし、遅いような気もしますが、諏訪湖クラブが発足して一年が過ぎ、二年目を迎えました。4号目のニュースをお手元にお届けするのが遅れていて、会員の皆様が目を通される頃には2009年の新年を迎えられた後だと思います。2009年は昨年後半の世界的な経済的変動の波を受けてどのような年となるのか、先行き不透明ではありますが、皆様の健康な生活が続くよう願っています。

昨年の諏訪湖クラブの活動は設立一年目でもあったことから非常に活発にとはいきませんでした。最初にご期待に添えなかったことをお詫びしておきます。それでも3月には最初の総会を開き、諏訪湖の保全、まちづくり、新エネルギー開発など、継続中や新規活動のプロジェクトの紹介をすることができ、まずは始動開始ができました。以後、この三つのプロジェクトを中心にして会の活動が少しずつ進展しています。

5月には旧諏訪環境まちづくり懇談会から引き継いだ「諏訪湖チャリティ・ウォーク」がJALT（全国語学教育学会）の皆さん、信州大学・山地水環境教育研究センターの皆さんと共催で行われ、若い方々の参加に将来への希望を見た思いでした。一度点した灯を消さないように活動を続けることの大切さを感じたことでした。

9月には下諏訪文化センターで大会を開き、新規に始められた新エネルギー開発プロジェクトの「諏訪地域エネルギー事業計画」に関連する内容の紹介を行いました。諏訪地域、特に、諏訪市、下諏訪町の自然エネルギーの特徴は温泉熱利用があることです。これについては、既に各自治体から報告されている「新エネルギー開発ビジョン」でも取り上げられていることです。このビジョンを現実化しようという取り組みが「諏訪地域エネルギー事業」計画で、谷辰夫理事が中心となって進められています。幸いにして、飯田市の「おひさまエネルギーファンド（株）」グループの方々の協力を得て、環境省からの補助金を受けることができ、現在プロジェクトが進行中です。このプロジェクトは諏訪地域での自然エネルギー活用を住民レベルで計画することが出来るか、その際にはどのような計画が可能かを探るもので、具体的な実施計画は2009年度以降となります。中心的課題は自然エネルギーの活用と市民ファンドの設立ですが、自然エネルギーについては温泉熱の有効利用、市民ファンドに関しては既存の飯田おひさまファンドのノウハウをどのようにして諏訪地域に適用できるかの判断です。自然エネルギーについてはもちろん太陽光発電も含まれていますが、諏訪地域の特徴である温泉熱に関しては、高温度温泉の利用によるカーリーナ発電と小規模、低温度熱利用によるヒート・ポンプの組み合わせが現在検討されています。エネルギーの地産地消と市民ファンドの設立を目指すこのプロジェクトに関しては2009年3月までに環境省へ報告することになりますが、その内容と今後の取り組みに関しては2月14日（土）に企画されている諏訪湖クラブ周年記念大会（後記）で、その詳細を報告し、会員の多くの方々と議論する予定です。

10月には「まちづくり」プロジェクトの一環で「日本民家再生リサイクル協会（JMRA）」との合同シンポジウムが行われました。諏訪市で行われている「辻と小径」プロジェクトの施行地域でもある諏訪市寺町地区や小和田地区などの、観光的には知られていない旧市街地を中心にして、諏訪湖クラブ会員の案内により、東京をはじめ他地域の人々と探訪し、好評を得ました。発端は諏訪湖クラブ会員でもある旧諏訪環境まちづくり懇談会会員で建築専門家の松井英子氏からの提案で、宮坂平馬理事が中心となって対応していただきました。詳細はその際の報告に譲りますが、今後も積極的にこの種の活動が続けられることを願っています。

以上の他にも農水産物の地産地消と諏訪湖浄化に関わるセルリーの問題も諏訪湖クリーン祭の際に諏訪JAとの協力で、ワカサギに関しては諏訪湖漁協の協力で問題提起を続けています。他の団体とのより緊密な協力で本年も諏訪湖クラブの活動が活発に展開できるよう、会員皆様のご支援をお願いします。

Information

アンケートへのご協力ありがとうございました！

昨年 11 月に、会員全員に一周年記念大会開催の可否についてアンケートを行った結果、60 人の方からご回答いただきました。その結果、「お任せします」のご回答を含めて 44 人の方が『開催』のご意向でした。そこで、下記のとおり「諏訪湖クラブ一周年記念大会」を開催する事に致しました。

◆ 諏訪湖クラブ一周年記念大会（仮称）◆

- 日 時 : 平成 21 年 2 月 14 日（土） 午前 10 時～16 時
場 所 : 諏訪市文化センター・第二集会室（2 階です）
内 容 : （以下時間配分以外は仮題です）
- [午前の部]（10:00～12:00） 諏訪湖保全を考える
1. 過去 100 年の諏訪湖を振り返る 沖野外輝夫
 2. 会場を含めての討論
（諏訪湖の将来を考えて、今何をすべきか）
- [午後の部]（13:00～16:00）
- エネルギーの地産・地消を考える
1. 諏訪地域エネルギー事業計画
（環境省へのレポート説明）
 2. パネルディスカッション

1 月 20 日付の長野日報朝刊一面に掲載された関連記事の内容が詳しく説明されますよ。

是非多くの方に参加いただきたい内容です。今からご予約下さいね！

◆ 諏訪湖チャリティ・ウォーク 来年 5 月 3 日で、20 周年！◆

JALT（全国語学教育学会）信州支部と共に、諏訪湖畔に記念植樹計画をすすめています。いろいろ検討する中で、大勢の参加者の思いを集めたものにしたと考え、皆様に「植樹記念募金」にご参加、ご協力いただきたいと思います。

次世代、あるいは次々世代の人たちがその木のもとで語り、遊ぶ姿を楽しく想像しながら・・・
また一緒に歩き、交流を深めましょう！
今からご予約ください！



「環境問題を考える対談と映画の会」のご案内

諏訪市環境のまちづくり市民協議会よりパンフレットをいただきましたので、同封しました。よろしかったらご参加してみたいかがでしょうか。豪華キャストです。

平成 21 年 2 月 22 日（日）午後 1 時～4 時 諏訪市文化センター

◆ **諏訪湖クリーンフェスティバルへの参加報告** ◆

9月6日(土)に開催された『諏訪湖クリーンフェスティバル』に諏訪湖クラブとして参加しました。テーマは「諏訪湖の水文化と食文化」。

参加しました!
参加しました!

■ **諏訪湖浄化の推進**

『落水川をきれいにする会』の皆さんが調理して下さった空心菜の炒め物は、落水川の浄化、そして諏訪湖浄化のシンボルとして会員の皆さんが丹精込めて育てた空心菜をもちろん使っています。諏訪湖心で汲んだ正真正銘の諏訪湖の水を、簡易浄水器で浄化して沖野会長が美味しく淹れて下さったお茶では、地域行政や住民の皆さんの努力により、諏訪湖の浄化が進んできたことをアピールしました。

■ **地産地消と原産エコ・セルリー**

諏訪湖漁協さん提供の、今季初めて試験取りしたピチピチのワカサギ—久住監事・金子理事が中心となり、『諏訪湖シャボンの会』『諏訪湖 チャリティウォーク』のスタッフの皆さんがカラッと唐揚げにしてくださいました。JA 信州諏訪さん提供、小池理事に御苦労いただき、根っこごと朝採りしたシャキシャキの原産セルリーと諏訪特産のお味噌とのコラボレーションも大人気でした。農水産物の地産地消を推進すること、そして、環境や健康に配慮し、減肥料・低農薬に一生涯取り組んでいる農協さんと地元生産農家さんの努力を住民の皆さんにお伝えしたいのです。

◆ **平成 20 年度大会開催報告** ◆

[9月13日(土) 午後 下諏訪文化センターにて]

ご報告しま〜す!
ご報告しま〜す!

■ **研究報告**

1. 新エネルギー開発プロジェクト経過報告
2. セルリーを中心とした地産地消プロジェクト
3. 諏訪の歴史と文化を大切にしまちづくりプロジェクト

■ **平成 19 年度決算報告**

3月23日総会の折には決算前につき、決算予定報告とさせていただきましたので年度中途ではありますが、大会にあわせて総会を行い、改めまして、平成19年度の決算報告をさせていただきましたのでご確認ください。

<平成19年12月1日 から 平成20年3月31日 まで>

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
<収入の部>		
会 費	270,000	90名分 @3,000円
収入合計	270,000	
<支出の部>		
事務経費	31,013	封筒・用紙代・印刷代・ファイル・事務用品等
通信費	39,960	発起人総会通知・総会報告・ニュース等 郵送代
会議費	41,866	発起人総会・大会、会場費・資料印刷代等
支出合計	112,839	
収支差額	151,161	次期(平成20年度)繰越金

◆ 諏訪湖クラブと日本民家再生リサイクル協会（JMRA）との交流会 ◆ —まちづくり合同シンポジウム— ご報告

諏訪湖クラブの設立総会において、以前から諏訪市の街づくりに深く関与していた日本民家再生リサイクル協会（略称 JMRA）の松井さんから講演を頂いたことをきっかけに、諏訪にて両組織の交流会、共同セッションをやりましょうと話が持ち上がり、10/11（土）今回の交流会が行われました。

五味光一さん、三村貴金属店さん、小口法光寺住職さんが沢山の貴重な資料を、事前に作成して下さいまして、大変好評でした。町歩きは、五味光一さん、小林滋さん、松村健さんのガイドで、改めて諏訪の魅力伝えることが出来ました。シンポジウムでは、諏訪市の街づくり推進課の課長さんと担当者にもご参加いただき、以下の内容が発表されました。

1. 小口法光寺住職 挨拶、「寺町の景観」について、諏訪湖クラブの紹介、JMRA および古民家まちなみ調査委員会の紹介、諏訪市まちづくり推進課の挨拶
2. 諏訪湖クラブの取組み
本町商店街、看板建築再評価・ベンチ設置などの取組 （三村氏・五味氏）
3. 旧諏訪環境まちづくり懇談会で作ったまちづくり地図の紹介
当時のまちなみトレース、提案そして現在へ （松井氏）
4. 古民家まちなみ調査委員会から
「上諏訪てくてく探訪」マップを作成して （小林氏、山田氏）
再生古民家紹介：新村邸紹介 （新村氏、本城氏）
5. 参加者全員による意見交換、その後、布半にて懇親会

<JMRA の皆さんからの貴重なご意見・ご感想を紹介します！>

- 諏訪がこんなにもおもしろく良い所だとは知らなかった。今までは温泉と諏訪大社と湖くらいしか見ていなかった。そして説明を聞きながらの散策は、諏訪の歴史と文化がより深く伝わってきた。特に小和田の元水郷地区は諏訪らしい面影が残っていて、心安らぐ場所だった。今回のイベントで諏訪が好きになった。
- 諏訪湖クラブ（五味氏、三村氏、小口ご住職）から全員に配布された沢山の資料は、どれも貴重なもので、これまでの住民によるまちづくりの努力が伺え、その取組み自体が人に大変感動を与える。その内容はヒューマンで、現在あるものをより良くする計画であり、大変好感が持てる。地道な作業と年月をかけ、一軒一軒の建物の個性を浮き彫りにしながら、全体計画を計っている。他の地方都市の手本となる。今後も長く継続して行ってほしい。

当日は、好天に恵まれ、スタッフの素晴らしい準備があり、県外の方に諏訪を知っていただけて、良いセッションになりました。

ご参加下さった皆様からいただいたヒントを、今後のまちづくりに活かしていきたいと思えます。



理事紹介

高木 保夫 様

水が好きです。保育園前後は、家の前の小川（せぎ）に、下半身しゃがみこんでは遊びました。近所のしょうゆ工場から流れてくる王冠をたくさん集めました。特に酒の王冠がお気に入りでした。

小学校時代は、横河川でのカジカ取りに熱中しました。タマネギの袋で自家製の網を作りました。サワガニも多くいました。

中学時代は、諏訪湖周の河川の水質調査をしました。栄養剤のビンを数百本用意しました。朝の採水中に、酔払い運転車が落ちてきて、橋の下へ逃げたこともありました。

高校時代、魚類班で野生化グッピーを追いかけてました。夏は諏訪湖で、冬は古川の温泉の湯尻に群れて越冬していました。下水道の普及で、野生化できなくなりました。

大学時代は、悪いみずを友と飲むばかりでしたが、社会人になって諏訪湖つながりが戻りました。特に天竜水系の24時間水質調査は印象に残りました。最初の年は、一人で二河川受け持ちました。犬に吠えられながらの調査でした。

これからも、水つながり諏訪湖つながりを大切にします。
諏訪湖の水が(そのまま)飲めますように。



長崎 政直 様

つげ義春の漫画「山椒魚」の「そうさ、俺は誰にも邪魔されずに、自由に勝手気ままにしていられるのさ。毎日毎日、上流から見慣れないものが流されてくるので、もちろん退屈なんかするわけがない。俺はその一つ一つを点検してみるのだ。これはけっこう楽しくて没頭できるんだ。」

という下りが気に入って「山椒魚亭主」と自称しています。そんな気分の中で、諏訪湖クラブにも参加しました。生業は、酒の小売業で、ワイン、焼酎、清酒などにこだわって、下諏訪町と諏訪市の境で商いしています。



◇ 諏訪湖ミニぎやらりい ◇



諏訪湖上空の白鳥



諏訪湖から見た日の出

理事会報告

- 第 9 回 日 時 : 平成 20 年 8 月 17 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野・谷・久住・金子・長崎・鴨志田・小池 <順不動・敬称略>
内 容 :
1. 新エネルギー開発プロジェクトの経過報告と今後の予定
2. 諏訪湖クリーンフェスティバルの出展内容と当日の参加依頼
3. 平成 20 年度大会と総会での役割分担
- 第 10 回 日 時 : 平成 20 年 10 月 19 日 (日) 午前 10 時~12 時
出席者 : 沖野・久住・宮坂・金子<順不動・敬称略>
内 容 :
1. 諏訪湖クラブ創立一周年記念事業について
行うか行わないかも含め、会員全員にアンケートを行い決定する
2. 新エネルギー経過報告
3. JMRA との合同シンポジウム報告
4. JALT 諏訪湖チャリティ・ウォーク 20 周年記念植樹について
- 第 11 回 日 時 : 平成 20 年 11 月 16 日 (日) 10:00~11:30
出席者 : 沖野・長崎・宮坂・金子理事・鴨志田・久住<順不動・敬称略>
内 容 :
1. 諏訪湖クラブ創立一周年記念事業について
アンケートの結果、行うこととし、日時・場所おおまかな内容を決める
2. 新エネルギー事業経過報告
3. 役員の任期について
規約上役員の任期は 2 年であるが設立時期が平成 2007 年 12 月であったので
今期に限って 2009 年 3 月まで今の役員のままでいくことに合意
- 第 12 回 日 時 : 平成 20 年 12 月 13 日 (土) 16:00~17:30
出席者 : 沖野・金子・久住・小池・長崎・谷・小口<順不動・敬称略>
内 容 :
1. 新エネルギー事業の経過報告
2. 2 月 14 日 (土) の一周年記念事業内容について
- 第 13 回 日 時 : 平成 21 年 1 月 13 日 (日) 10:00~12:00
出席者 : 沖野・小林・長崎・高木・宮坂・鴨志田・金子理事・久住
<順不動・敬称略>
内 容 : 2 月 14 日 (土) の一周年記念事業内容詳細について

企画・編集・発行

諏訪湖クラブ事務局

〒392-0017 諏訪市城南二丁目 2362

TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp



諏訪湖クラブニュース

No. 4

平成 21 年 1 月 22 日発行